

I. 平成30年度の実績

グループ名称	東京守りの家普及会				
H30採択グループ番号	07	—	0330	—	0248

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	グループ内のトップランナーが主体となって未経験工務店に対するサポートを行い、高度省エネ枠を使い切ることを目標とし、達成した。
----	--

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/31	名称	H30グリーン化事業説明会				
	内容	30年度の事業趣旨の説明、グループルールの説明、書類作成及び事業完了報告期限の説明								
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/10/14	名称	家づくり教室				
	内容	新築住宅を検討中の方への国の施策の説明								
	消費者説明会 2		開催日		名称					
	内容									
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/08/31	名称	月次定例会	タイプ	座学		
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ			
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ			
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ			
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ			

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有								
	内容	トップランナー及び事務局からの書類作成上の注意点等の説明								
取組み ②	サポートの有無 2									
	内容									
取組み ③	サポートの有無 3									
	内容									

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	49	発行予定	60
② 住宅履歴情報の保管先	自社	機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有									
内容	グループ施工業者の倒産廃業時には、定期点検の継続を考慮しグループ構成員内の紹介制度を設ける。									
② H30年度における施工構成員の廃業	無									
対応内容										

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有									
内容	高気密・高断熱の建物の基本性能に加え、自然エネルギーを利用を考えた設計をし、さらに高性能設備機器の導入を進めた									
省エネ化に対する取組 ②										
内容										
BELS工務店の登録数	4社									

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	東京守りの家普及会			
H30採択グループ番号	07	—	0330	— 0248

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/08/31	名称	H31グリーン化事業説明会		
	内容	今年度の事業趣旨の説明、グループルールの説明、書類作成及び事業完了報告期限の説明						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/09/15	名称	家づくり教室		
	内容	新築住宅を検討中の方への国の施策の説明						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/08/31	名称	月次定例会	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/09/24	名称	月次定例会	タイプ	見学会
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	トップランナー及び事務局からの書類作成上の注意点等の説明						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	自社	機関名	
------------	----	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	グループ施工業者の倒産廃業時には、定期点検の継続を考慮しグループ構成員内の紹介制度を設ける。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	高気密・高断熱の建物の基本性能に加え、自然エネルギーを利用を考えた設計をし、さらに高性能設備機器の導入を進める。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	高断熱化を目指し、熱損失の大きい窓を中心とした改修を提案する。 高性能設備機器については、給湯エネルギーを削減するような設備を採り入れる。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	無	実施日					
内容							
研修計画 ②		実施日					
内容							

II. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	東京守りの家普及会				
H30採択グループ番号	07	—	0330	—	0248

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	
----	--

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上		
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明						
主要構造材	土台	有	地域材の使用量は主要構造材の50%以上とし、2次部材(大引き、合板受け、羽柄材等)においても積極的に地域材を活用する。				
	柱	有					
	梁・桁等の横架材等	有					
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無					
造作材	枠材、廻縁等	無					
板材	壁板、床板等	無					

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	無	
内容		
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	無	
内容		
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	無	
内容		
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	共通施工マニュアルに基づいた施工を確実に、定例会でも随時確認を行なう。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	3ヶ月、6ヶ月、1年、3年、5年、10年、以降5年毎定期点検を行ない、劣化による建物の故障を未然に防ぐ。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	グループ会員メンバーの現場パトロールを実施。 工事途中の構造体表示状況において、施工精度を確認するため、全棟気密検査を行う。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	共通見積提示書を作成する。見積明細は各工事毎に作成し、工事内容がわかるものとする。詳細に本体工事、付帯工事、設計、申請費等、項目に分けた様式で各数量を明示し、不透明な表現部分をなくす。伝えにくい項目は、実現場にて適宜説明する。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	お施主様には住み替える前の一年間の光熱費データと住み替えた後の光熱費データを提供して頂き(光熱費データとは、電気・ガス・水道の領収証)、光熱費・一次エネルギー消費量などの程度変化したかをわかりやすく表・グラフにして説明し、省エネ意識を芽生えさせ、今後の住まい方のアドバイスを行っていく(楽しく、長く生活できるように)。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	シフト制により、営業しつつ、休日を取り入れている。また、休暇を取りやすいため、仕事の進捗状況等を常に全体で把握し、また、業務をマニュアル化することにより別人でも対応が出来るようにするなど行っている。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	有資格者に対して手当を出し、長時間労働をなくし、十分な休暇を得られるように、定時退社の日を設け、一定の経験年数ごとにまとまった休暇を与えるようにしている。
③ 社会保険への加入	有	内容	グループ構成員全てが加入
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	安全大会などにより安全に対する啓蒙活動を行い、安全を優先するように周知徹底している。また、定時退社日を設け、好きなことに時間を使えるようにしている。

II. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	東京守りの家普及会				
H30採択グループ番号	07	—	0330	—	0248

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	今年度の使用予定枚数(1畳換算) 24枚
② 和瓦の活用	無	内容	
③ 襖・障子の活用	有	内容	襖はお客様のご要望に応じて活用していく。 障子はバッシブ(日射遮蔽)の観点からも積極的に活用していく。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	内装材として無垢材などの伝統的な木の活用を推奨する。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	夏季・冬季における通風・蓄暖を意識した開口部の配置や、日射遮蔽としての軒・庇の出を検討する。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	新興住宅地などでは希薄になりつつある地域コミュニティ形成のお手伝いとして、上棟式や餅まきを推奨する。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	現場周辺において近隣を含めた現場清掃活動を実施し、美化された街並みの形成に寄与する。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み

直接的には、復興エリア(東北地方)の地域材を積極的に使うようにする。また、各種イベント(内覧会やセミナー)において、被災地との産地直送商品券をお施主様にプレゼントすることで微力ながら被災地の方々に向けた支援を行う。間接的には、自然環境グリーンデー(環境庁)・夏の省エネルギー総点検の日(資源エネ庁)に合わせ、8月1日にグループ構成員の社員・OB施主様・協力業者の方々と、電気を消してローソクで過ごす

② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み

グループメンバーが所有する、発電機や照明器具を提供する。